

植物科学科3年野菜「ゴールデンパールメロン」は、今が大切な時期！

6月4日（木）選択生22名が、一人4株ずつ着果節と玉つりの確認をしました。4月に定植したゴールデンパールメロンの果実が鶏卵大となり、摘果・玉つりの時期を迎えました。狙う着果節にあるかどうか、先週行った着花調査と今回の着果の状況を調べました。上限の節には、先週赤いリボンを付けました。下限の節には、白いリボンが付いています。



雌花は、受粉・受精が上手く進まないで、黄色く枯死してしまいます。



写真は、黄色の花弁につながる子房部分が黄色く枯死していることが確認できます。

狙う着果節には2～3個の鶏卵大の果実があります。1果残して、あとは摘果します。



残す果実と摘果する果実を判断できるように確認しました。



1本1果取りの栽培です。無事に収穫できるよう、そして高品質なメロンに成長させるように観察、記録を行いました。

引き続き、栽培の基本と商品価値を高める学習を重ねて参ります。